

この先の福祉交通について考える シンポジウム

～誰もが外出・在宅を選択できる社会を目指して～

**入場
無料**

日程 2019年11月27日（水）

時間 15:00～17:00

会場 芸術小ホール 地下スタジオ

定員 90名（満席になり次第受付終了）

プログラム

外に出る/家でくつろぐー‘2018ケイパビリティ調査’が写した国立
より質の高い外出・在宅を実現するために求められるかたち

講演者 一橋大学 経済研究所 後藤 玲子 教授
神林 龍 教授

2019年2月に市内で実施した福祉交通需要調査に基づいた分析と今後の福祉交通の
在り方についての講演を行います。

福祉交通の現場を語る ——【パネルディスカッション】

いま現場で起きていること、必要とされる移送とは

福祉交通の最前線で起きていることとは——？

講演する両教授、国交省関東運輸局公認 地域公共交通マイスターの清水弘子氏、
市内福祉有償運送事業者、副市長を交えた討論会を行います。



福祉有償運送事業の制度が変わります

市内の移送を500円で！より使いやすく、よりわかりやすく！

来年2020年4月から市内の福祉有償運送が変わります。利用者にとってよりわかりやす
く、より使いやすい制度を紹介します。

普段の外出をあきらめざるを得ない方々へバスやタクシーに続く、第3の交通手段として市
民参加型の移動手段を提案します。



主催：国立市都市整備部道路交通課（福祉交通担当）

協力：一橋大学 経済研究所

国立市福祉有償運送運営協議会

（連絡先）

国立市都市整備部道路交通課交通係
TEL 042-576-2111（内線349）